

130520  
都市部高齢化対策検討会第一回提出資料  
高橋紘士（国際医療福祉大学大学院教授・  
高齢者住宅財団理事長）

都市における高齢化の課題について

都市型未踏高齢社会  
高齢者絶対数の増加と現役世代の縮小・少子化

階層分化

- 富裕層（有資産層）と分厚い中間層と生活困窮層との併存
- 女性の後期高齢者
  - 国民年金＋遺族年金層
- 単身世帯・高齢者世帯がマジョリティ
- エンployee層出自の高齢者（被用者年金層）
- 経済的困窮と社会関係資源の困窮層（貧と孤）

既存システムとシステムの前提の限界→  
都市型地域包括ケアシステムへ

分離・排除型支援システムか  
包括的支援システムか

- たまゆら問題の意味
- 施設・病院依存の限界
- 少数の受益層と放置あるいは排除される大多数
- 包括支援システムの地域効果

高齢者の現役世代化と  
サクセスフルエイジングの条件

自助の活用最大化

ターミナルケアの課題

ケアサイクルをどう運用するか

巨大行政体の困難

地域マネジメントの困難

分節化（地域分権とマネジメント単位の適正化）

保険者機能と  
自治体政策・行政の課題

介護保険制度運用と生活支援施策の連携

- 給付行政と基盤整備行政のバランス問題
- 地域包括ケアシステム構築手法の開発
- 老人福祉法を高齢者生活支援法へ改正すべき

大都市行政の問題点

縦割行政の弊害

住宅行政と保健福祉行政の連携統合問題

地域包括ケアを推進できる政策専門性の確保

都市部の社会資源の構造

それなりに充実した資源が存在

- 包括的支援を可能にする協働システム形成の課題
- 市場システム、公共システム、コミュニティシステムの分担と協働

自助、互助、共助、公助のアンバランスをふまえた対応  
～画一化から地域評価にもとづく推進へ

発見、評価、対応、問題解決の一連のプロセス管理のシステムの未整備

幾つかのソリューション

- ふるさと会の包括的支援モデル（東京都墨田区、台東区、新宿区）
- 北九州市いのちをつなぐネットワーク
- 埼玉県和光市の地域包括ケアシステム
- 居場所づくりとワンストップ相談システム  
（東京都新宿区「暮らしの保健室」新潟県地域の茶の間等々）
- 課題発見とリーチアウトシステム  
（松戸市常盤平団地、埼玉県（アスポート）、などなど）
- 多摩市におけるケアサイクル構築プロジェクト  
（日本医大長谷川敏彦教授のグループ）
- ホームホスピスの実践（神戸、尼崎、宮崎、久留米、熊本等）
- ナガヤタワープロジェクト（鹿児島市堂園メディカルハウスによる）

これらのソリューションを  
一般化普遍化する方法は？

新しい制度構想 地域居住支援制度  
の創設

地域善隣事業体構想